



ユーザーマニュアル

(c.セキュリティ設定／サーバー連携)

株式会社 スカイコム

はじめに

本書は SkyPDF Standard / Professional 7（以下、本製品）で利用できる機能を説明するものです。
本製品をご使用の際には本書をご参照の上、正しくお使いください。

注意事項

本製品は、株式会社スカイコム（以下、当社）が開発した製品です。
当社の書面による事前の許可なしに本書および本製品について複製・保存・転送を行うことは、いかなる形式・手段であっても禁止されています。
本製品を輸出する場合には、外国為替、外国貿易法および米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

免責事項

本書は、本書に記載される内容があくまでも参照用としてのみ用いられること、製品の改良等に伴い予告なしに変更されることを前提として提供されるものです。本書における誤りや欠落、不正確な記述について、当社は一切責任を負いません。

当社は本書が提供する情報について、その完全性、正確性、有用性、特定目的適合性、第三者の権利の非侵害性等を一切保証せず、またこれらを調査する義務を負わないものとします。

当社はライセンス使用許諾契約書に従って製品保証を提供しており、本書に基づく保証は行っておりません。したがって、本書の利用あるいは利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、当社は義務や責任を負うものではありません。

予めご了承ください。

商標情報

- 主な商標情報は別紙に記載しています。（別紙参照：SkyPDF7_ユーザーマニュアル(a.はじめに)）
- その他本書に記載されている会社名、ブランド名、および商品名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。

目次

はじめに	2
目次	3
用語集	4
1 概要	5
2 セキュリティー設定	6
2.1 パスワードによるセキュリティ	6
2.2 電子証明書によるセキュリティ	11
2.3 セキュリティーが設定された PDF を開く	16
3 サーバー上の PDF の表示/編集/保存	17
3.1 稼働条件	17
3.2 環境設定	17
3.3 サーバー上の PDF を開く	18
3.4 サーバー上の PDF を編集する	18
3.5 サーバー上に PDF を保存する	19

用語集

本書における主な用語の定義を説明します。

- ※ 本書では、一般的な用法/解釈とは異なる意味で使用している用語もあります。
本書をご使用の際の定義としてご理解ください。

キーワード	解説
SkyPDF Standard	当社が販売している PDF 作成・閲覧・編集が可能なソフト SkyPDF Viewer が提供する機能に加えて、PDF 作成機能や編集機能を備えている
SkyPDF Professional	当社が販売している PDF 作成・閲覧・編集が可能なソフト SkyPDF Standard の上位版となり、Standard が提供する機能に加えて、高度な PDF 編集機能を備えている
環境設定	本製品の各種設定を行うための機能 [ツール]メニューか、あるいはツールバーのアイコンから
しおり	目次のように、各見出しへのリンクが付けられているもの

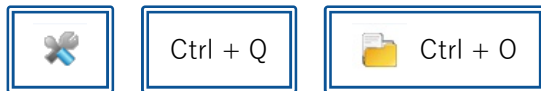
1 概要

SkyPDF Standard / Professional 7 では、PDF の作成や編集が可能です。
本書では、SkyPDF Standard / Professional 7 で共通する以下の機能について説明します。

- セキュリティー設定
- サーバー上の PDF の表示/編集/保存

ただし、一部 SkyPDF Professional 7 かそれと同等の製品でしか設定できない項目の説明もあります。
その場合は「※ Professional エディションのみ」などの注意書きを記載します。

また、ツールバーにアイコンがある操作、ショートカットキーがある操作、その両方がある操作は、



のようにアイコンとショートカットキーを記載します。

2 セキュリティ設定

PDF におけるセキュリティ設定では、パスワードの入力や証明書の有無によって、閲覧や印刷、編集などの権限を制限することができます。

本製品で設定できるセキュリティは、以下のとおり複数あります。

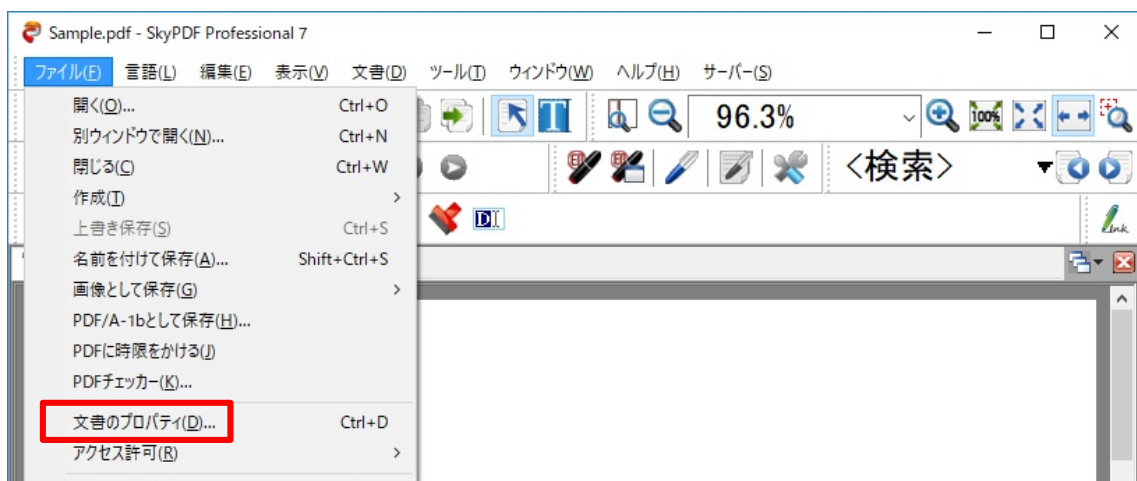
パスワードによるセキュリティ	PDF の閲覧・印刷・編集などの機能に、パスワードの入力による制限を設ける ※ Standard / Professional エディションで設定可
電子証明書によるセキュリティ	PDF の閲覧・印刷・編集などの機能に、電子証明書の有無による制限を設ける ※ Standard / Professional エディションで設定可
時限セキュリティ	PDF に対し閲覧回数・閲覧期限を設ける ※ Professional エディションのみ設定可 Professional エディション購入者向けの別紙にて説明
RMS セキュリティ	PDF の閲覧・署名・変更などの機能に、RMS による制限を設ける ※ Professional エディションかつオプション購入者のみ設定可 Professional エディション購入者向けの別紙にて説明

2.1 パスワードによるセキュリティ

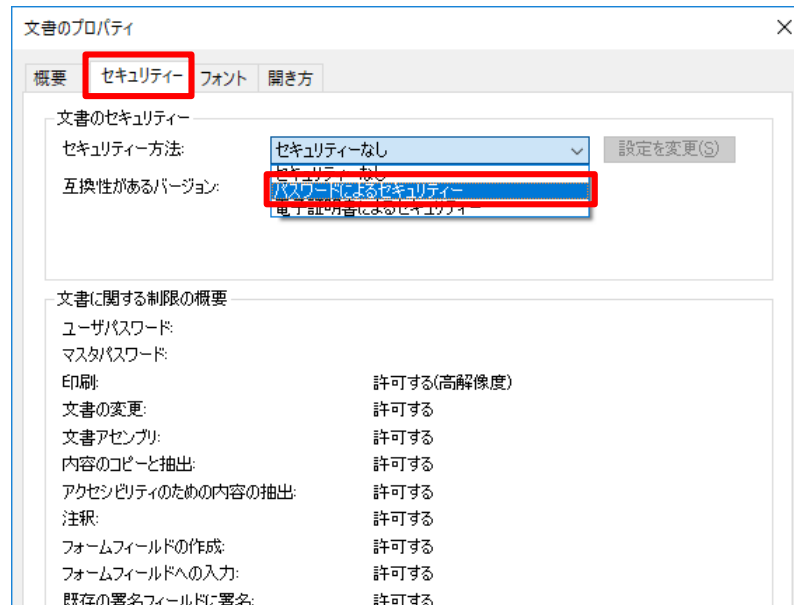
パスワードを設定してPDFにセキュリティをかけます。
PDFの閲覧・印刷・編集を制限することができます。

1. [ファイル] メニューの [文書のプロパティ] を開きます。

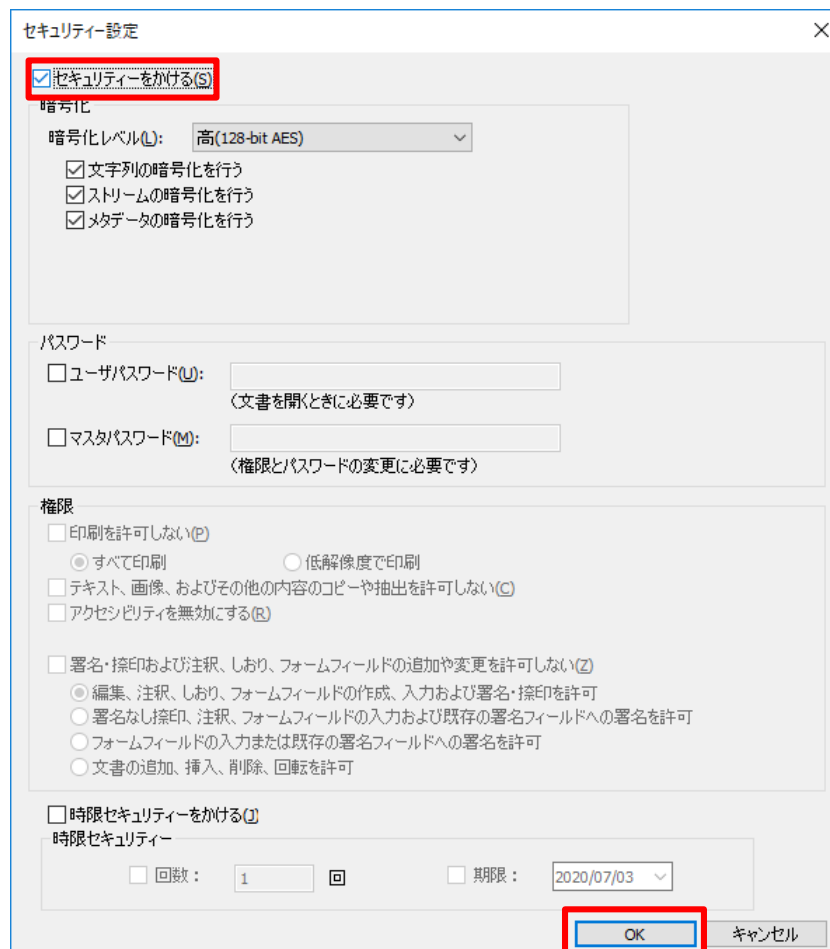
 Ctrl + D



2. [セキュリティ] タブを開き、セキュリティ方法として [パスワードによるセキュリティ] を選択します。



3. [セキュリティをかける] にチェックを入れて、「暗号化レベル」「パスワード」「権限」の設定を行い、[OK] を押します。



暗号化レベル

本製品で設定できる暗号化レベルは、[低(40-bit RC4)] が最も低く、[高(256-bit AES)] が最も高くなります。

暗号化レベルが高いほどセキュリティの面では効果的ですが、PDFのバージョンがより新しくなります。また、選択した暗号化レベルによって、設定できる「権限」の項目が異なります。

[高(128-bit RC4 Acrobat6互換)] 以上を選択すると、暗号化する要素の設定ができます。

項目	説明
文字列の暗号化を行う	PDF 内の文字列をすべて暗号化の対象とする
ストリームの暗号化を行う	添付ファイルも暗号化の対象とする
メタデータの暗号化を行う	文書情報（タイトル、作成者、サブタイトル、キーワードなど）を暗号化の対象とする

パスワード

項目	説明
ユーザパスワード	PDF を開く際に必要となるパスワード（1～32 文字） このパスワードを入力して PDF を開いた場合、「権限」で設定した範囲での PDF 閲覧が可能 ※ [マスタパスワード] と同じパスワードは設定できない
マスタパスワード	PDF の印刷権限・編集権限を変更する際や、セキュリティを設定した PDF を編集する際に必要となるパスワード（1～32 文字） このパスワードを入力して PDF を開いた場合、「権限」の設定に関係なく、すべての操作が可能 ※ 「オーナーパスワード」とも言う

権限

暗号化レベル [低(40-bit RC4)] 設定時の権限

項目	説明
印刷を許可しない	印刷することのできない PDF とする
テキスト、画像、およびその他の内容のコピーや抽出を許可しない	テキストや画像を選択してコピーしたり、特定のページを抽出したりできない PDF とする
文書の変更を許可しない	リンク、アーティクル、トリミング、フォームフィールドへの入力ができない PDF とする
署名・捺印および注釈、フォームフィールドの追加や変更を許可しない	新しく署名・捺印・注釈・フォームフィールドを設定したり、すでに設定されているものを変更したりできない PDF とする

暗号化レベル [高 (128-bit RC4 / 128-bit AES / 256-bit AES)] 設定時の権限

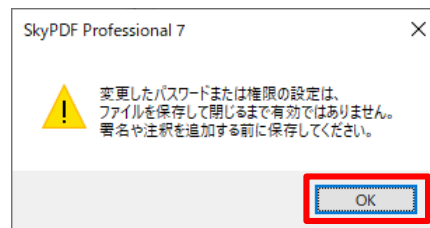
項目	詳細
印刷を許可しない	印刷することのできない PDF とする
すべて印刷	印刷の権限設定を行わない
低解像度で印刷	解像度を 150dpi 以下に設定した場合にのみ印刷できる PDF とする
テキスト、画像、およびその他の内容のコピーや抽出を許可しない	テキストや画像、その他のコピー・抽出ができない PDF とする

アクセシビリティを無効にする	テキスト読み上げ機能などのアクセシビリティ機能を使用できない PDF とする
署名・捺印および注釈、しおり、フォームフィールドの追加や変更を 許可しない	新しい署名・捺印・注釈・フォームフィールドの追加や変更ができない PDF とする
編集、注釈、しおり、フォームフィールドの作成、入力および署名・捺印を 許可	印刷や、コピー・抽出を除く、すべての編集機能を使用できる PDF とする
署名なし捺印、注釈、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドへの署名を 許可	フォームフィールドの作成はできないが、フォームフィールドの入力、新しい注釈の作成、署名の追加ができる PDF とする
フォームフィールドの入力または既存の署名フィールドへの署名を 許可	フォームフィールドへの入力と署名フィールドへの署名ができる PDF とする
文書の追加、挿入、削除、回転を 許可	ページの挿入・削除・回転と、しおりおよびサムネイルの作成ができるようにする

×：制限する ○：制限しない

	文書の変更	文書アセンブリ	注釈	フォームフィールドの作成	フォームフィールドへの入力	既存の署名フィールドに署名	署名フィールドを作成して署名	テンプレートページの作成	フォームの送信
署名・捺印および注釈、しおり、フォームフィールドの追加や変更を 許可しない	×	×	×	×	×	×	×	×	×
編集、注釈、しおり、フォームフィールドの作成、入力および署名・捺印を 許可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
署名なし捺印、注釈、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドへの署名を 許可	×	×	○	×	○	○	×	○	○
フォームフィールドの入力または既存の署名フィールドへの署名を 許可	×	×	×	×	○	○	×	×	×
文書の追加、挿入、削除、回転を 許可	×	○	×	×	×	×	×	×	×

4. [OK] を押します。



5. [OK] を押します。



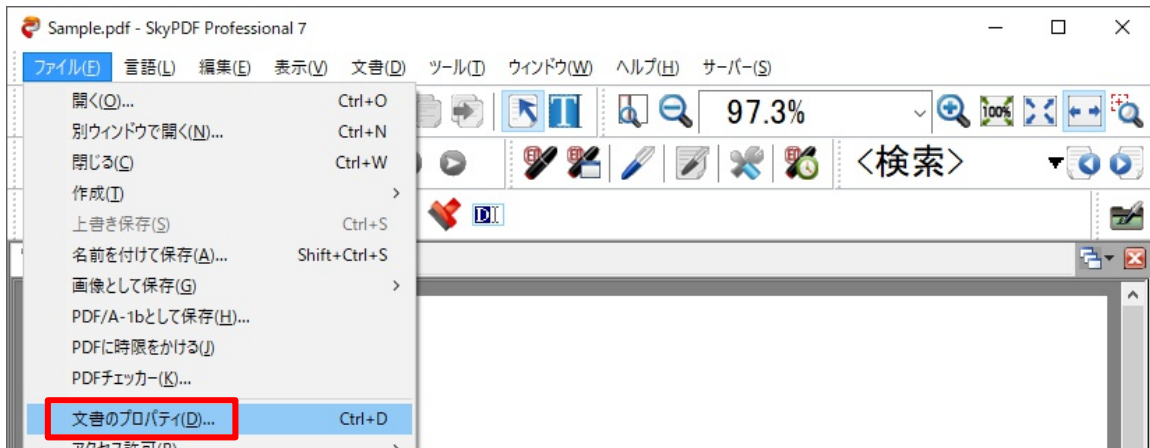
6. [上書き保存] または [名前を付けて保存] でPDFを保存します。

2.2 電子証明書によるセキュリティ

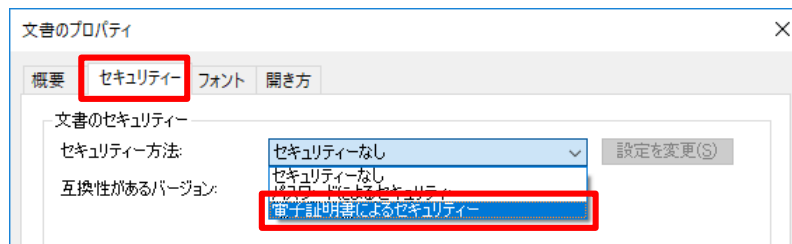
電子証明書を使用してPDFにセキュリティをかけます。PDFの閲覧・印刷・編集を制限することができます。

1. [ファイル] メニューの [文書のプロパティ] を開きます。

Ctrl + D



2. [セキュリティ] タブを開き、セキュリティ方法として [電子証明書によるセキュリティ] を選択します。



3. 暗号化の設定で、暗号化と暗号化時の証明書の検証について設定し、[次へ] を押します。

証明書によるセキュリティ

電子証明書によるセキュリティの設定を開始します。
暗号化の方法を選択してください。

手順

- 暗号化の設定
- 発行者の指定
- 受取人の指定
- 設定の確認

暗号化

暗号化レベル(L): 強(128-bit AES)

☐ 文字列とストリームの暗号化を行う(E)

☒ すべての暗号化を行う(Q)

暗号化時の証明書の検証

検証方法

☐ 有効期間(I) ☐ 失効リスト(R) ☐ 信頼性パス(P)

CRL検証(失効リスト検証する場合のみ)

☐ CRL/OCSP ☐ CRLのみ(D) ☐ キャッシュのみ(A)

< 戻る(B) **次へ(N) >**

文字列とストリームの暗号化を行う：PDF ファイルに添付されているファイルも暗号化される

すべての暗号化を行う：メタデータの暗号化を行うため、このPDF ファイルをWEB 上に公開した際に、検索エンジンで検索できなくなる

有効期間：検証日が、証明書の有効期間開始日～終了日の場合、有効

失効リスト：検証日に当該証明書が失効リストに含まれない場合有効

信頼性パス：暗号化を行う端末、ユーザにおいて、ルート CA 証明書までのチェーンが正しく構築される場合に有効

CRL/OCSP：CRL および OCSP の配布ポイントからダウンロードした失効情報を使用して検証する

CRL のみ：CRL の配布ポイントからダウンロードした失効情報を使用して検証する

キャッシュのみ：オフラインで照合。あらかじめ、失効リストを取得する必要がある

4. 発行者の指定で、作業中のPDFの発行者を指定して、[次へ] を押します。
発行者には、自動的に管理者権限が付与されます。

The screenshot shows the '証明書によるセキュリティ' (Security by Certificate) dialog box. On the left, a sidebar lists the steps: '暗号化の設定' (Encryption Settings), '発行者の指定' (Issuer Selection) - which is highlighted with a green arrow, '受取人の指定' (Recipient Selection), and '設定の確認' (Check Settings). The main area is titled '発行者' (Issuer) and contains a table with columns '名前' (Name), 'Eメール' (Email), and '発行者' (Issuer). The first row is highlighted with a red box. To the right of the table are buttons '詳細(D)...' (Details...) and '解除(B)' (Release). Below the table is a section '証明書の詳細' (Certificate Details) showing fields for '名前', 'Eメール', '発行者', 'シリアル番号' (Serial Number), and '有効期間' (Valid Period). At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next) - which is highlighted with a red box, and 'キャンセル' (Cancel).

5. 受取人の指定では、まず [追加] を押します。

The screenshot shows the '証明書によるセキュリティ' (Security by Certificate) dialog box. The sidebar on the left now highlights '受取人の指定' (Recipient Selection) with a green arrow. The main area is titled '受取人' (Recipient) and contains a table with columns '名前' (Name) and 'Eメール' (Email). To the right of the table are buttons '追加(S)...' (Add), '削除(R)' (Delete), '詳細(D)...' (Details), and '権限(P)...' (Permissions). The '追加(S)...' button is highlighted with a red box. Below the table is a section '権限' (Permissions) with a list of permissions: 'セキュリティの変更' (Change Security), '変更' (Change), '印刷' (Print), and 'コピー' (Copy). At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

6. 「個人」または「ほかの人」の証明書ストアの中から、受取人とする証明書を、名前、Eメール、検証方法、CRL検証などの絞り込み条件で「検索」します。
検索結果の中から受取人を選択して「追加」を押します。

証明書の選択

検索

証明書ストア: 個人

名前:

Eメール:

検証方法

☐ 有効期間(I) ☐ 失効リスト(R) ☐ 信頼性(P)(E)

CRL検証(失効リスト検証する場合のみ)

☐ CRL/QCSP ☐ CRLのみ(N) ☐ キャッシュのみ(A)

検索(S)

名前	Eメール	発行者	シリアル番号	有効期間

追加 キャンセル

7. 追加した受取人を選択して、「権限」を押します。

証明書によるセキュリティ

この文書の受取人を指定してください。
権限ボタンをクリックし、受取人個別に文書に関する制限を設定することができます。

手順

- 暗号化の設定
- 発行者の指定
- ➡ 受取人の指定
- 設定の確認

受取人

名前	Eメール

追加(S)...
削除(R)
詳細(D)...
権限(P)...

権限

セキュリティの変更	許可する
変更	編集、注釈及びフォームフィールドの作成を許可
印刷	許可する(高解像度)
コピー	許可する

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

8. 受取人の権限を変更する場合は、「文書の印刷、編集を制限する」にチェックを入れます。
設定項目の内容は「4.2 パスワードによるセキュリティ設定」と同様です。
設定したら「OK」を押します。

権限の設定

☒ 文書の印刷、編集を制限する(S)

権限

☒ 印刷を許可しない(P)

☐ すべて印刷 ☐ 低解像度で印刷

☒ テキスト、画像、およびその他の内容のコピーや抽出を許可しない(C)

☒ アクセシビリティを無効にする(B)

☒ 署名・捺印および注釈、しおり、フォームフィールドの追加や変更を許可しない(Z)

☐ 編集、注釈、しおり、フォームフィールドの作成、入力および署名・捺印を許可

☐ 署名なし捺印、注釈、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドへの署名を許可

☐ フォームフィールドの入力または既存の署名フィールドへの署名を許可

☐ 文書の追加、挿入、削除、回転を許可

OK キャンセル

9. 受取人の追加と権限の設定が終わったら「次へ」を押します。

権限

セキュリティの変更	許可する
変更	編集、注釈及びフォームフィールドの作成を許可
印刷	許可する(高解像度)
コピー	許可する

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

10. 設定内容を確認し、「完了」を押します。

証明書によるセキュリティ

電子証明書によるセキュリティの設定を確認してください。

手順

- 暗号化の設定
- 発行者の指定
- 受取人の指定
- ➡ 設定の確認

暗号化

暗号化レベル 高(128-bit AES)

☐ 文字列とストリームの暗号化 ☒ すべての暗号化

暗号化時の証明書の検証

検証方法

☐ 有効期間 ☐ 失効リスト ☐ 信頼性パス

CRL検証(失効リスト検証する場合のみ)

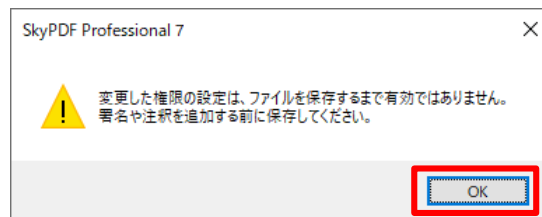
☐ 通常 ☐ キャッシュのみ

受取人

発行人: 受取人数: 1人

< 戻る(B) 完了 キャンセル

11. [OK] を押します。



12. [OK] を押します。

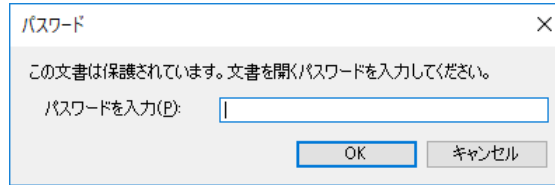


13. [上書き保存] または [名前を付けて保存] でPDFを保存します。

2.3 セキュリティーが設定された PDF を開く

パスワードによるセキュリティ

ユーザパスワードが設定されている場合、パスワードの入力を求められます。



正しいユーザパスワードを入力すると、PDFの閲覧が可能です。

ただし、マスタパスワード（オーナーパスワード）が設定されている場合は、印刷や編集などの一部の機能が制限されている場合があります。

マスタパスワードしか設定されていない場合は、パスワードの入力は不要です。

ただし、印刷や編集などの一部の機能が制限されている場合があります。

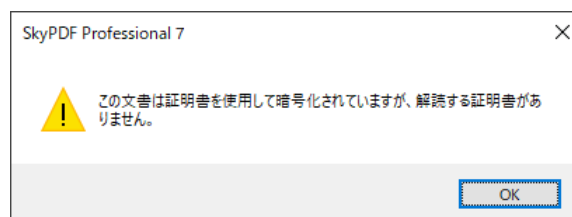
セキュリティ内容を変更したい場合は、[文書のプロパティ] の [セキュリティ] タブを開き、[設定を変更] から変更してください。変更には、マスタパスワードの入力が必要です。

※ 暗号化レベルが「256-bit AES」の場合、セキュリティ内容の変更にはユーザパスワードの再設定または再入力が必要です。ユーザパスワード欄のパスワードを書き換えるか、または、[OK] を押してパスワードの入力を求められた際にユーザパスワードを入力してください。

電子証明書によるセキュリティ

設定する際に「受取人」として設定された電子証明書がインストールされているPCであれば、PDFを開くことができます。

必要な証明書がインストールされていない場合は、以下のようなメッセージが表示され、PDFを開くことはできません。



3 サーバー上の PDF の表示/編集/保存

SOAP インターフェース対応の Web サービスを搭載したサーバーがあれば、サーバー上の PDF ファイルのダウンロード・編集・アップロードが可能です。

サーバーを使用するためのリファレンスは、以下の URL から入手してください。

https://www.skycomsprt.jp/docs/SkyPDF_ServerCollaborationGuide_201911.pdf

3.1 稼働条件

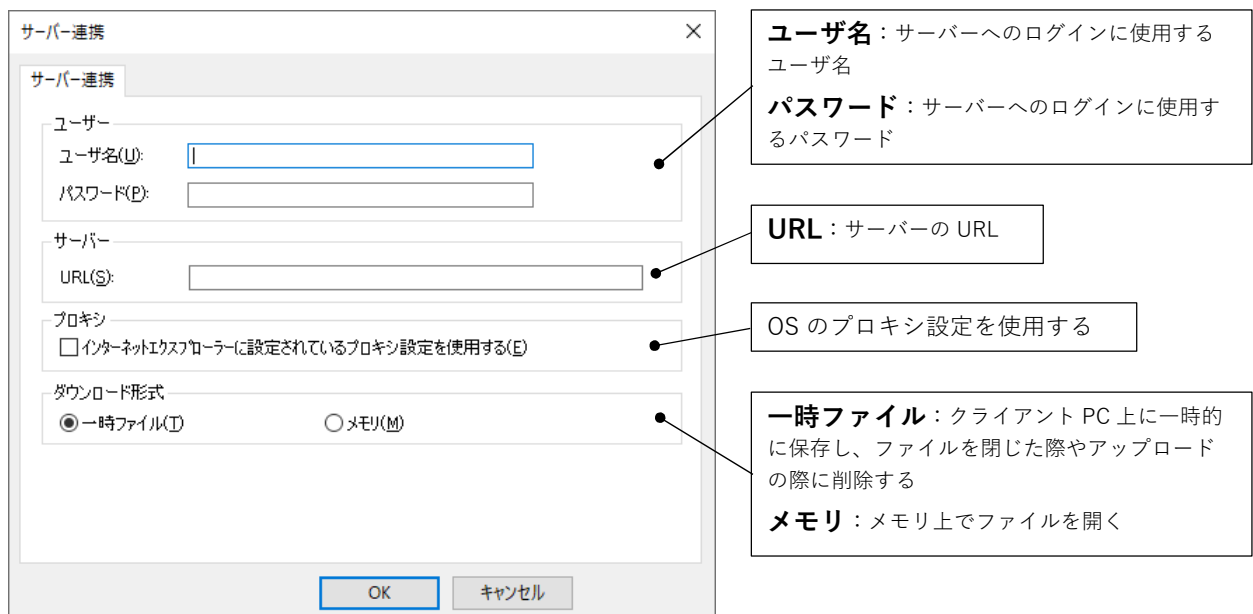
以下の条件をすべて満たす場合のみ、サーバー連携機能は利用可能となります。

- SOAPインターフェース対応のWebサービスを搭載したサーバーである
- 接続時の認証方法としてBasic認証が使用可能である
- 通信プロトコルはHTTP/HTTPSが可能である
- OSのプロキシ設定を用いて、プロキシ経由での接続・通信が可能である

3.2 環境設定

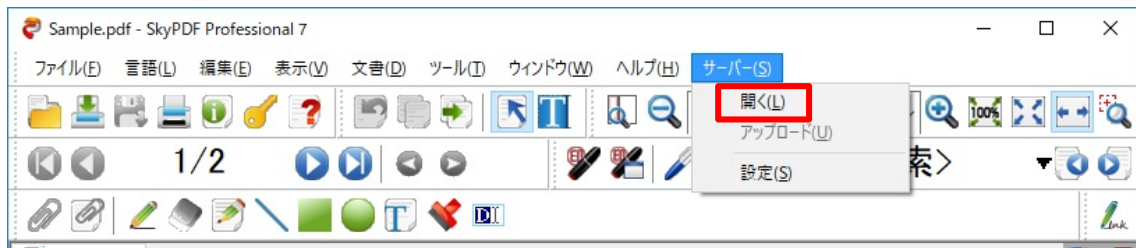
このサーバー連携機能を使用するには、事前の設定が必要となります。

設定は、環境設定の [サーバー連携] タブ、または、[サーバー] メニューの [設定] から行います。

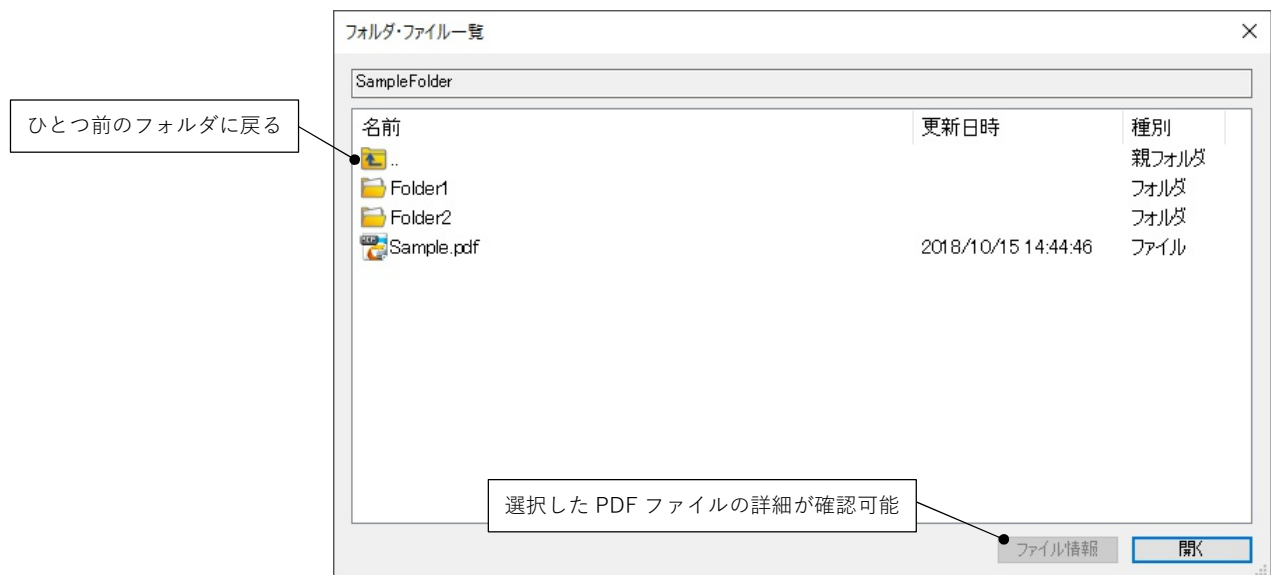


3.3 サーバー上の PDF を開く

1. [サーバー]メニューの[開く]を選択します。



2. フォルダ・ファイル一覧画面でPDFファイルを選択し、[開く]を押します。
※ [ファイル情報]を押すと、選択した PDF ファイルの詳細を確認できます。



3.4 サーバー上の PDF を編集する

[サーバー]メニューの[開く]から開いたPDFファイルは、編集することができます。
ただし、以下の機能は使用できません。

- 上書き保存
- 名前を付けて保存
- 画像として保存※
- PDF/A-1bとして保存※
- PDFに時限をかける※

※ Professional エディションのみ

3.5 サーバー上に PDF を保存する

[サーバー]メニューの[開く]から開いたPDFファイルは、[サーバー]メニューの[アップロード]で保存することができます。





SkyPDF Standard / Professional 7

ユーザーマニュアル（c.セキュリティー設定／サーバー連携）

第6版 2021年12月13日 発行